

## 平成26年度 第1回 山梨県文学館協議会 会議結果記録

日 時： 平成26年10月20日(月)

場 所： 県立文学館研修室

### 参加者：

委員 高野美智子、蔦木雅清、向山文人、池田尚隆、数野強、赤坂治績  
上野美穂子、清水章子、乙黒幸江、福嶋尚美、中込富夫  
県教育委員会 中澤文化振興監、田中学術文化財課長  
県文学館 三枝館長、酒井副館長、小俣学芸幹、大関総務課長、高室学芸課長  
土橋資料情報課長、名取総務担当主査、  
保坂学芸員(学芸担当リーダー)、小林教育普及担当主幹教育主事、  
水上資料情報担当副主幹  
指定管理者 山本SPSやまなし支配人、桑田SPSやまなし副支配人

### 議事

- (1)平成25年度事業報告等について
- (2)平成26年度事業報告及び予定等について
- (3)その他

### 議事録

県教育委員会文化振興監挨拶

会長挨拶

館長挨拶

事務局職員紹介

事務局から会議資料により、議事(1)～(2)を説明

会長

ただいま、事務局から、学芸、教育普及、資料情報、また、指定管理のSPSやまなしの活動について説明がありました。

どちらからでも結構ですから、質問、意見などありましたらお願いします。

B委員

説明を聞きまして、とても努力していると感じました。これかも努力を続けていただきたいと思います。前回の協議会で、ラジオで文学を聞くことの効果について、お話ししま

したが、この協議会からの働きかけもあったかと思いますが、FM富士で朗読の番組をやっていたら、聞いてみると、やはり聞く感動というものがあると思いました。これからもこのような連携を深めていただきたいと思います。

もうひとつ、これは指定管理者へのお願いです。文学館の中に喫茶店がありますが、花子とアンが話題になって、多くの方が来館して、喫茶店の利用者も増えたかと思いますが、飲み物が紙コップに入れて出てきました。できれば花子の生きた時代の器でだしてもらえばよかったと思いました。

#### 指定管理者

貴重な御意見ありがとうございます。喫茶店につきましては、よい雰囲気をつくりたいということで指定管理者としても努力しているところです。今年4月の「村岡花子展」では、それにちなんだメニューを用意しましたが、新たな機器の導入などもあり、経費的な問題もあり紙コップになってしまったような事情があります。しかし、お客様が不満を持ってしまったことは受け止め、改善に努めてまいります。

#### 事務局

ただいまの御意見に関連して、学芸から説明します。今回の谷崎潤一郎展では、谷崎本人の朗読の音声、あるいは夫人のテレビ出演のビデオを、視聴コーナーで視聴できます。これからも、そのような音声、映像などがあれば、積極的に公開していきたいと考えておりますので、是非御利用ください。

#### C委員

現在開催している、谷崎潤一郎展の入場者数、一日の平均など分かる範囲で教えてください。

#### 事務局

これまでの入場者数は1,410名です。平均ですと70名くらいです。非常によい展示をしていますので、皆様にもPRしていただければと思います。

#### C委員

谷崎は、ノーベル賞候補とも言われた作家ですから。この展覧会を注目している人は多いと思います。多くの人に見てもらいたいです。

#### H委員

知り合いから言われた意見ですが、美術館で開催された「ミレー展」に行ったが、「村岡花子展」が終わっていてとても残念だった。両方を同時に見ることができないものかと言

われました。「村岡花子展」が6月いっぱいでは終わりましたが、テレビの方は人気で、どんどんおもしろくなるとうきに終わってしまって、私もこの協議会で文学館に関わっているものだから、とても残念で、何とか延長できないものかと思いました。

先ほどの紙コップのことですが、他の美術館などでは、レストランが、とても完備していることが多く、展覧会を見た後に、ゆっくりくつろいで話をして満喫して帰るということがありますが、知人から言われたのが、今まではそうでなかったのに、紙コップを出されて、とても驚き、何か文学館自体が安っぽく見えてしまうのではないか、という意見がありました。

会長

ミレー展と時期がずれたことは、何とか調整できなかったのでしょうか。

事務局

「村岡花子展」に関して、内情を話しますと、村岡家からかなり大量の資料を借りました。6月末日で終了して、7月1日に返却に行きましたところ。そこに次の館が借りに待っておりまして、資料を確認して右から左へというような状況でした。延長してほしいと言う声は沢山いただきましたが、とてもできる状況でなかったことは御理解ください。ただし、先ほども説明しましたが、館蔵の資料を使って、「本のおしゃれ展」のなかに「花子と白蓮コーナー」を展示しましたし、現在も、規模は縮小しましたが、常設展示室に展示しておりますので、是非御理解いただきたいと思います。

事務局

「村岡花子展」が6月30日に終了し、美術館の「ミレー展」が始まったのは7月20日でした。どちらも多くの方が来場して、駐車場が満杯になることが多く、とても両方を同時に開催することは無理でした。痛し痒しのところですが、そのような事情を御理解ください。

会長

他に、質問・意見はありますか。無ければ、事務局から議題の3番目の「その他に」ついて説明してください。

事務局

<事務局から3点報告>

- ・前回、数野会長より、施設の外部評価、内部評価が実施されていればその内容の報告を求められていたが、その状況を報告
- ・美術館通りの歩道整備について国土交通省から申し入れがあり、関係機関と協議してい

ることを報告

・飯田龍太文学碑の建設スケジュール等について報告

会長

ただいまの報告について、質問・意見はありますか。なければ、一号議案、二号議案も含めて、承認ということによろしいでしょうか。

<出席委員が、拍手をもって、3議題について承認>

会長

議事は終了しましたが、その他何でも結構ですから、この際、何か意見があるでしょうか。

A委員

先ほど会長の挨拶の中で、文学館は美術館に比べれば、どちらかと言えばじみであると言われましたが、私はこの雰囲気大好きです。ただし、年配者だけが好きというのでは無く、子供たちの声が聞こえる文学館であれば、もっとすばらしいと思います。

私たちの会は、グローバルな視点で、国際交流を通して、男女共同参画社会を目指し、女性リーダーを育てるため、教育委員会から委託を受け、セミナーなどの事業をやっています。東京に本部があるんですが、今回の「村岡花子展」は非常に注目されましたし、昨年の富士山世界遺産登録などもあって、全国から同じ会の皆さんが本県に見学に来てくれています。明日は、文学館と美術館を見て、明後日はたぶん雨でしょうけど、富士山に行ってみようと計画しています。文学館の活動が、そのような動きにもつながってくると思いますので、今後もそのようなことがあれば報告させていただきます。

D委員

「村岡花子展」の大成功おめでとうございます。

私も「村岡花子展」の関連の文学講座の講師を担当したのですが、満員で、警備の方に、私は講師ですと説明しないと、会場に入れないような状況でした。あの時も思ったのですが、展示の内容はいつもすばしくて、「村岡花子展」はテレビの影響が強かったのですが、もしテレビがなくても、多くの人が見に来たと思います。

山梨大学には、この4月から新しい近代文学の先生が来たのですが、彼は、神奈川の文学館と駒場の近代文学館などを経験して、山梨大学に来たのですが、文学館の専門家の彼が、山梨県立文学館の展示そして図録は、とてもすばらしいと感心していました。今回の「谷崎潤一郎展」もとてもいいのですが、入場者が少ないのはとても残念です。来ればそのよさは分かるはずなのです。わたしも学生を連れて文学館に行くことがあります、そ

の時はいつも学芸員にお願いして、説明をしてもらいます。するとやはり違うんですね。みなよく分かって満足して帰ります。だから、職員がいつもというのも無理でしょうが、ボランティアなどでも説明をつけて、来た方に、展示の価値を分かってもらう、そうすると、また口コミで多くの人々が来館するのではなどと考えます。展示の良さを考えると本当に残念なので、うまく工夫できないかと思います。

数野会長

他に、どなたか意見がありますか。

私からですが、図書館も文学館も同じだと思いますが、教育文化施設は皆、一生懸命がらんばっているのですが、よい仕事をするには、やはり人が必要です。これは教育委員会にお願いしたいのですが、職員の確保を、政治的なことも含めて要望したいと思います。他に意見が無ければ、これにて終了とします。